

－労働と教育の場「雑草」・ごはん☆あらぐさ・クローバーハウス・生活支援センター・法人・後援会だより－

あらぐさニュース

2021.07

Vol.82

発行/社会福祉法人あらぐさ福祉会 〒362-0051 上尾市地頭方438-6 TEL048-726-5720 048-726-5862(支援センター直通)



コロナ禍でも夏をたのしもう！！



みなさん、コロナ禍での夏はどうお過ごしですか？上尾市はまん延防止等重点措置が発令されていて我慢の日々が続いています。全体を見るとなかなか感染者数の減少は見られず…あらぐさでもソーシャルディスタンスや消毒、常時マスク着用などの感染対策を継続しており、利用者にとっても職員にとっても窮屈な日々です。あらぐさでは毎年7月にあらぐさまつりを開催していますが、去年からイベントは軒並み中止となり夏の楽しみもなくなっています。利用者から聞こえるのは「旅行に行きたい」「お出かけしたい」など…毎日あらぐさでは作業、家に帰ってもお出かけできないとなると普段とは違う何か楽しみが欲しくなるのは当然のことですね。

そこで今年も“自粛”をしつつ夏を楽しむべく各班で計画を立て、夏のおたのしみ会を開催しました！！少人数で距離を保ちながら楽しむというところに苦労しましたが、実際にやってみるといつもの作業とは違った雰囲気ワクワク♪笑顔が多く見られた気がします。さらに、毎年夏恒例の七夕飾りも笹に飾りました。短冊には「コロナなくなりますように」「ボーリングしたい」などみんな思い思いに願いを書いていました。あいにくの雨でしたが願いが届くといいですね。

こういった状況がいつまで続くのかまだまだわからないですが、ワクチン接種が進むことでまた一泊旅行に行ける日がくるまでみんなで頑張っていこうと思います！

(井上)

夏のおたのしみ会

【 菓子班&生活班 】

テーマは「夏祭り」！お客さん役・店員さん役に分かれて、屋台風のお店でお買い物体験をあらぐさ屋内にて開催しました！屋台ということでチョコバナナ、カステラ焼き、冷やしキュウリをみんなで作る場所から始まります。そして事前に牛乳パックで作ったお金とお財布を持って、ひとりずつお買い物しました。(1ページの左写真)みなさんなかなか正しい金額を出せずに苦戦していましたが、早く食べたい！という気持ちを抑えて最後まで諦めずに計算していました。ようやく買った商品にかぶりつくと「おいしー！」と目がキラキラ輝いていました☆多きつと夏を楽しめたんじゃないでしょうか… (井上)



【 こぼん☆あらぐさ 】

久しぶりのお楽しみ♪ラウンドワンへ出かけてきました。皆のあんなに楽しそうな笑顔は見ていてこちらもとても嬉しくなるほどでした！それではお待ちかねの結果発表をしたいと思います。優勝は、武田さん！さすがベテランですね。フォームも綺麗で安定感がありました。続いて第二位は石塚さん！パワーストライカーかと思いきや、コースを正確に読み繊細な石塚さんでした。第三位は岡島さん！初めてのあらぐさのボウリング楽しめたかな？フォームはプロボーラーのように上手でした。他の仲間も僅

差のバトルを繰り広げ白熱したボウリングとなりました。帰りのバスではもうリベンジに燃えているセリフが聞こえてきました。「倍返しだ」そうです！楽しみですね♪ (小口)

【 プリヂェストーン班 】

ビンゴ大会とホットケーキパーティーを行いました。ビンゴでは、ホットケーキのトッピングを選ぶ順番が決まるため、みなさん次々と発表される数字を必死に探していました。普段は静かな仲間も、「リーチ！」「ビンゴ！」と負けられない戦いに熱さを見せてくれました！ビンゴのあとはお待ちかね！焼き立てのホットケーキが運ばれてくると、待ち切れずに立ち上がって迫るみなさんの顔、顔、顔。ビンゴで決まった順番が台無しに・・・と思いましたが、そこはしっかり整列。積極的に楽しむ機会を持たないこの時期に、少しでも仲間たちとの楽しい時間を共有できたことを嬉しく思います。1日も早くこの状況が終わるよう、祈るばかりです。 (樋川)

【 リサイクル班 】

リサイクル班はミニお祭り会を開催しました！祭り囃子の流れる中、輪投げ、ボウリング、魚釣りと、屋台遊びをするかのようにあちこちを回り、最後はお手製鈴カステラをジュースと一緒に「おいし〜い！」と笑顔で美味しくいただきました。コロナ禍により様々な行事が潰れてしまいましたが、それでもめげないのが雑草流。もっともっと、みんなが楽しめることを考えていきたいです。 (佐藤)



コンセントの向こう側

先の見えないコロナ禍の中、皆様いかがお過ごしでしょうか。「あらぐさ福社会」の各事業所は、昨年のような通所自粛をせず通常に開いています。しかし変異株の脅威やオリンピック開催や医療体制のひっ迫など、安心できる材料は一つもありません。仲間たちは、制限の多い毎日をどう感じて生活しているのでしょうか。新しい生活様式といいますが、まだ見えない日々が続きます。

こんな時、福島原発訴訟団の1人「武藤類子」さんの言葉を思い出します。「私達は何気なく差し込むコンセントの向こう側を想像しなければなりません。便利さや発展が差別と犠牲の上に成り立っていることに思いを馳せなければなりません。原発はその向こう側にあるのです」

私達は、「福島の未だに故郷へ帰れない人たちがいて、処理水が今も溢れつづけていること」「コロナ禍で失業・閉店・倒産が増えていること」「今も多くの人が戦火の元で暮らしていること」「海にマイクロプラスチックが溢れていること」「温暖化の海面上昇でツバルやキリバスなどの島国が水没の危機にあること」を知っています。同時に、家電に囲まれた生活をし、ペットボトルのお茶を飲み、ネットで世界中と繋がる便利な生活をしています。個人の意識が社会の変革に繋がるのは、なんと困難なことか。しかし個人の意識の変革無しにありえないのも事実です。だからこそ、真実を知ることはとても重要なのではないのでしょうか。

その一つに「優生上の見地から不良な子孫の出生を防止」する旧優生保護法訴訟があります。1996年に廃止されるまで、この法を根拠に約25,000人が不妊手術を受けさせられました。今になって国は一時金として320万円を支払うとしていますが、この対応には人権意識の欠片も人としての温かさもありません。そして全国で12件の「憲法違反」を問う裁判が起こされました。原告は、子を持つ権利を奪われた「人権侵害」だけでなく、子どもを持てなかった苦しみや、それによるさまざまな差別の被害を受けかねない状況にあるとして、精神的な苦痛は今も続いていると主張しました。

仙台地裁は違憲の判断はしましたが、20年過ぎたとして賠償は認めませんでした。東京地裁は違反の判断もせず、『優生思想』は国が作り出したものではなく、その思想をなくすのは容易ではなかった」として、国の責任を全く認めませんでした。原告の思いは、再び踏みにじられたのです。

また、「65歳問題」があります。障害者も65歳以上は介護保険の適用を受けます。「社会保障は保険制度が優先される」からです。これによりサービスの内容も変わり1割負担が発生します。

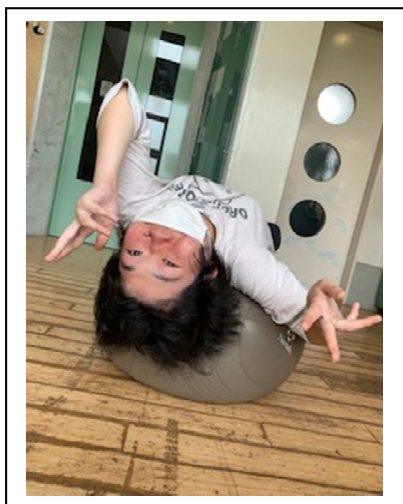
2015年8月、65歳になった天海正克（あまがいまさかつ）さんが、介護保険の申請をしなかったため、千葉市は全面的に障害福祉サービスの支給を打ち切りました。天海さんはこれを不服とし市を提訴しました。地裁の判決は「介護保険を利用させなければ、社会保険優先という社会保障の基本的な考え方に背馳（はいち）するとともに他の者との公平にも反し相当でない」と却下しました。

「他の者との公平」は自立支援法を通すときに国が繰り返した文言です。「誰でも使ったり食べたりすれば代金を払う。障害者にも相応の負担をしてもらわないと社会が納得しない」。あの時、この法律により事業所に通う人は、多い月で3万円以上の負担が発生しました。工賃は1万円足らず、退所者や心中まで出て大きな反対運動が起きました。国も譲歩せざるを得なくなり、1割負担は事実上無くなりました（法律上は残っていますが）。同様に強制不妊手術の訴訟や65歳問題、さらに環境問題なども、私たちの運動で前進できるのではないのでしょうか。この生きづらい社会を変えるため、社会と繋がる努力をしながら微力でも自分の行動を誠実に果たそうと思います。（荒川）

～クローズアップ～

「近頃のなかまの様子は？」「新しく入ったなかまのことが知りたい！」という声もあり、まだ紹介できていないなかまたちのクローズアップを今回からやっていきたいと思います。今回は入所4年目になったこの2人です！

【リサイクル班で暑い日も奮闘中の谷塚笑里さん】



☆お家では…入所当時とは別人のように本来のお笑いキャラを出せるようになってきた笑里。毎日楽しく通わせていたきおさんの様子をよく観察していて、憧れの先輩の真似をすることや言葉が増えてきたりと日々変化を感じる毎日です。ゆっくり少しずついいからこれからも成長を続けてくれるといいなと思っています。

☆あらぐさでは…谷塚さんは主に手選別作業に取り組んでおり缶やペットボトルの選別はお手の物。バケツに袋をかけるのも自らやります。職員の出入りがあると「おかえり～！」「またねえ～！」と声をかけています。何か頼み事がある時は「やってください」と言葉で伝えることができます。ひょうきんな姿を見せてくれることもあり仲間や職員を笑わせてくれます。

音楽が好きな谷塚さんは音楽がかかるとオリジナルダンスでノリノリ！最近は昼休みにバランスボールに乗かってリラックスするのがマイブームのようです。ヘアピンやヘアゴムを買うのを楽しみに頑張っており、休み明けに購入した物の色など教えてくれます。これからも雑草でたくさんの事を学び、体験して、彩りのある日々を過ごせるといいなと思います。まだまだ成長期！応援しています。

(樋口)

【こぱん☆あらぐさで活躍する斉藤詩織さん】



☆お家では…カフェを希望してパン班で実習をし、実習後の面談ではしおりの仕事ぶりをほめていただきあらぐさに入所を希望しました。一回の実習で入所できるのか心配でしたが、ポストに入所OKのお便りが来たときの嬉しさを覚えています。

人とのかかわり合いが大好きなしおりは、カフェ担当の曜日が特に気合が入っています。こぱん☆あらぐさで元気に働いている仲間の姿をぜひのぞきに來てくださいね。

☆あらぐさでは…詩織さんの周りにはいつも仲間が集まるこぱんのムードメーカーです。ダンスが上手で、笑いのセンスもあります。いつもにこにこ穏やかな詩織さんです。しかしこれが仕事になるとまた全然違う詩織さんになるのでとてもビックリしまし

た。器用な手つきでパンを丸め、きちんと形を作り、コッペパンの上手さは一番じゃないでしょうか。作業前、途中、後の報告も聞き取りやすい声ではっきりと伝えてくれます。これからますます成長していくこと間違いなしです。

(小口)

第22回後援会定期総会開催される

2021年6月19日(土)文化センター小ホールにて、前半は中・長期検討委員会報告、後半に定期総会が行われました。

全ての議案が承認され、250万円を本部会計に寄付致しました。今年度は資金作りの活動があるため300万円を目標に頑張ります。また中・長期検討委員会報告で、第4グループホームと新事業の設立を進めていくことになり、後援会も協力していくため話し合っていくことになりました。これからも皆様のご支援ご協力が必要となって参ります。どうぞよろしくお願い致します。

映画「夜明け前」上映される

2021年6月17日(木)文化センター小ホールにて上映致しました。あげお福祉会・よもぎの会・かしの木園の方も観に来て下さり、「知らないことばかりだったので勉強になった」と感想をもらい、どんな障害があろうとも人権尊重の大切さを改めて思い、また日本における問題を考えさせられた映画でした。

映画「星に語りて」上映会決定!!

2021年10月23日(土)10時～

上尾市文化センター大ホール

全席自由 1000円(当日券1200円)

雑草にて発売中!!

東日本大震災から10年。障害者・支援者がどう乗り越えていったか、感動の群像劇です。是非ご覧ください。 雑草 048-726-5720

2021年度賛助会員

2021年4月納入者(敬称略・順不同)

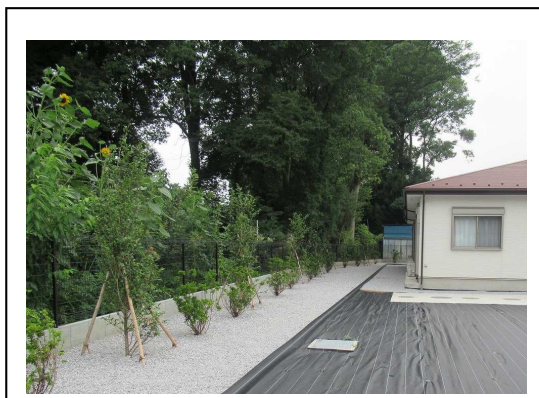
大村泰子 田中吉忠 伊澤武登 小畑澄子 秋山もえ 中島敬蔵 松野共子 吉池美智子
保住裕子 沼田君子 木村理恵 佐藤勝江 赤沼智子 秋山和子 福永恭子 深井美千子
太田正一 磯部浩美 平林朱美 西山朗 浅井勉 奥隅正 清水統 新井茂 小出千栄子
本多紀恵子 坂巻智慧子 相良美哉子 長井さと美 清水頭より子 矢島園
(株)はが建築社 納入ありがとうございました。

第3クローバーハウス通信

2021年3月22日に女性用の第3クローバーハウスがオープンして3ヶ月が経ちました。利用者は全員あらぐさに通所しているのですぐに慣れてとても賑やかに過ごしています。

最近、コロナ感染予防の為に自室で過ごす時間が増えましたが、テレビを見たり折り紙や裁縫をするなどして、それぞれの生活スタイルが作られてきています。

第3クローバーハウスが食材を発注している業者は、メニューが豊富でデザートを提供が多く、仲間達は楽しみにしています。5時を過ぎると「お腹空いた〜!」「今日は何かな〜」とカウンター越しに声がかかると、調理をしている職員は急ピッチで配膳の準備をしていきます。



最近、山岸造園様に依頼し、ホームの外回りを砂利やシートを敷いて整備して頂いたので、草や虫が湧くことなく快適に過ごしています。

また、駐車場の部分には、第2クローバーハウスを定年退職された小平さんからたくさんの植物を提供して頂き、ご夫婦の協力の下、すばらしい『グリーンガーデン』が出来ました。ミニトマトやゴーヤなど数種類の夏野菜も植える事が出来て、少しずつ実った野菜は食卓に添えられています。

まだ始まったばかりですが、仲間達が快適に生活を送ることが出来るように職員一同頑張っていきたいと思えます。
(相良)

編集後記

今年はずっと行っていたさいたま市の与野公園のバラ祭り開催も中止になってしまいとても残念でがっかりです。今年の梅雨入りが昨年より遅くこの頃蒸し暑い日が続いています。静岡県熱海市の大規模な土石流の被害でとてもかわいそうです。

今年も昨年同様に夏祭り、花火大会が開催中止でとても残念です。なかまのコロナワクチンができるようになり少し安心しています。コロナウイルスがまだ減らない流行が拡大するいっぽうで一日も早い終息を願うばかりです。皆様もマスク、うがいを徹底し体調管理に気を付けてお過ごしください。
(嶋田)

お待たせしました！あらぐさままつり開催決定！ 掘出し物たくさんのバザー
2021年10月2日(土) 開催時間は広報・ホームページでお知らせします。